

令和元年度

第12回 筑波大学 FD/SD研修会

第2回障害学生支援懇談会

障害のある学生に役立つ
支援技術の体験型ワークショップ

-身体障害から発達・精神障害、障害のない人
を含む全ての学生のエンパワメントへ-

参加無料

定員80名

2020年2月19日(水)

13:30~17:00

筑波大学第二エリア2C404教室

対象:筑波大学教職員(ダイバーシティ・アクセシビリティ
担当教員、関心のある教職員)、他大学等の教職員

講師 佐々木銀河
筑波大学人間系准教授
ダイバーシティ・アクセシビリティ・
キャリアセンター(DACセンター)
福祉情報技術コーディネーター1級

研修趣旨

障害のある学生に対する合理的配慮の提供および学生の社会参加や自立に向けて、支援技術(アシスティブ・テクノロジー:AT)の積極的活用が今後の高等教育に求められている。従来の支援技術は身体障害のある人向けの技術が多いものの、近年では発達・精神障害のある人や障害のない人を含め、多くの人々にとって役立つ技術も開発されてきている。本研修では、今後の大学教職員にとって必須のリテラシーとなるATに関する知識・技術を身につけるために**体験型ワークショップ**を行う。実際に参加する教職員が支援技術を手に取り、自身で使い、楽しみながら理解・活用することを目的とする。

内容

13:30~13:35	開会挨拶	DACセンター長	五十嵐浩也
13:35~16:35	支援技術の体験型ワークショップ 「聞く」「読む」「書く」「記憶」等を支援する技術の紹介 <途中15分休憩>		佐々木銀河
16:35~17:00	質疑応答		

アクセスマップ(筑波大学第二エリア2C棟)

<http://www.tsukuba.ac.jp/access/gmap/gmap.php?i=097020>

筑波大学第2回障害学生支援懇談会を兼ねております。個別相談を希望される場合は、事前に下記連絡先までお申し出ください。報告書に掲載するため、写真撮影等をしておりますので、あらかじめご了承ください。本研修は「ワークショップ形式(少人数グループによるディスカッションを含む)」で行われます。支援機器等の準備のため、当日参加は原則お受けできません。下記より**事前の申し込み(申し込み期日「2月5日(水)」まで)**をお願い致します。

主催

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
参加申込方法(要事前登録)

下記リンクまたは右側QRコードより申込ください

URL:https://jp.surveymonkey.com/r/tsukuba_20200219_AT

